

中医鍼灸セミナー

講師：陳 雷 2024/07/28（日）

一、足三陽経の経絡弁証

(一) 経絡弁証の概論

1. 定義 経絡学説（理論）に基づき、临床上に現れた症状と徴候を分析しながら病の所在する経絡と臓腑を弁明し、さらに発病の原因、病機、性質などを判断する弁証方法である。

2. 経絡弁証のまとめ

症状と症状の位置 ⇒ 病位の確定

3. 経絡弁証の要点

①「是主〇所生病」②経脈が所属する臓の病症 ③経脈が走行する場所の病症

(二) 足三陽経の弁証

1. 足陽明胃経の弁証 主血の病候

発熱、鼻血、鼻痛、歯痛、口眼歪斜、咽喉腫痛、頸部腫脹、乳房脹痛、胃脘脹痛、吐き気、嘔吐、鼠径部や下肢の前側が疼痛 など

2. 足太陽膀胱経の弁証 主筋の病候

頭項強痛、腰及び下肢後側が酸痛、運動の制限
悪寒発熱、鼻詰まり、 など

3. 足少陽胆経の弁証 主骨の病候

口苦い、寒熱往来、耳鳴り、頭部外側、缺盆（鎖骨上窩）
・腋下・胸脇・下肢外側・足指が疼痛 など

二、足三陽経の代表する経穴

(一) 足陽明胃経の腧穴 天枢穴 足三里穴

(二) 足太陽膀胱経の腧穴 委中穴 崑崙穴

(三) 足少陽胆経の腧穴 風池穴 陽陵泉穴

三、鍼灸療法臨床の刺絡放血法

(一)「刺絡放血」とは 刺絡：絡脈を刺すこと。放血：血液を放出すること。

刺絡放血法とは、鍼具を用いて絡脈を刺し破って血液を放出するという治療方法。

(二) 施療の道具 ●鋒鍼（三棱鍼）

●鑱鍼（箭鍼）

(三) 施療の場所 ●絡脈 孫絡・浮絡

●患部 腫脹部・腧穴・反応点

(四) 施療の効用 活血通絡・消腫化瘀止痛・退熱瀉火

(五) 施療の注意事項 ●衛生消毒
●受療対象
●鍼刺の深さ
●放血の量
●施療の頻度

(六) 臨床常用の放血腧穴 ●委中穴（急性腰痛）
●百会穴・太陽穴（頭痛）
●大椎穴・少商穴（発熱）
●金津玉液穴（言語障害）
●少商穴・商陽穴（咽喉腫痛）
●十宣穴（意識不明）

四、腰痛症の改善における鍼灸療法の弁証論治

(一) 腰痛症とは

腰の部分に現わす痛みや張りなどの不快に感じる症状の総称です。

(二) 中医鍼灸療法の弁証

1. 症状 ①腰の痛み ②腰部可動状態の異常 ③他（下肢の感覚異常など）

2. 診察 ①望診（神、形、態、色）
②按診（圧痛、触覚）
③問診（本人の感覚、病程など）
④脈診、舌診

3. 弁証分類 ①病勢の緩急軽重
②病因内外の確定
③正邪盛衰の判別
④病位表裏の確定
⑤病性寒熱の弁別

〔まとめ〕 氣滯血瘀証 風寒湿阻絡証 腎虚証

(二) 鍼灸療法の論治

1. 治療原則 治標 ■疼痛軽減 動作改善
治本 ■腎脾肝補益 気血調和

2. 経絡腧穴処方 ①経脈の処方

膀胱経 任脈 督脈 腎経 脾経 肝経 胃経 胆経

②腧穴処方

●基本選穴：阿是穴、委中、腰痛穴、後谿、腎兪、環跳

●弁経選穴 督脈：人中、印堂；

任脈：気海、関元；

膀胱経：承扶、殷門、飛揚、崑崙；

胆経：風市、陽陵泉

胃経：伏兪、足三里；

脾経：血海、陰陵泉

腎経：太谿、京骨；

肝経：章門

●弁証腧穴

実証 〔風寒証〕 風府、風池、肩井、外関

〔寒湿証〕 曲池、外関、腰陽関、風市、足三里、豊隆

虚証 〔肝〕 肝兪、期門、太衝

〔脾〕 脾兪、章門、太白、足三里、三陰交

〔腎〕 腎兪、京門、太谿、命門、関元、気海

〔血〕 膈兪、血海、太衝

②治法選択 ●鍼刺法 直刺法 浅刺法 留鍼 瀉血法

●灸法 棒灸・隔物灸・温鍼灸

●拔罐法（吸い玉） 定罐法・移罐法

3. 鍼灸治療

①体位： 〔急性の場合〕 立ち姿勢 座り姿勢

〔慢性の場合〕 臥位（俯せ・仰向け・側臥）

②補瀉： 患部→平補平瀉

弁証腧穴→補：気血臓腑の腧穴

瀉：祛邪の腧穴